

徳山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	総合英語
科目基礎情報						
科目番号	0019		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	情報電子工学専攻		対象学年	専1		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	The TOEIC Listening & Reading Test Circuit 語彙から始めるTOEIC L&R総合演習 新形式問題対応版 (松柏社)					
担当教員	高橋 愛					
到達目標						
社会生活を営むうえで最低限必要な英語の能力を身につけることを到達目標とする。外部試験での数値としては、TOEICスコア470以上の獲得である。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
リスニング	相手が明瞭に毎分120語程度の速度で、自分や身近なこと及び自分の専門に関する簡単な情報や考えを話す場合、その内容を聴いて理解できる。		相手が明瞭に毎分120語程度の速度で、自分や身近なこと及び自分の専門に関する簡単な情報や考えを話す場合、その内容を聴いておおむね理解できる。		相手が明瞭に毎分120語程度の速度で、自分や身近なこと及び自分の専門に関する簡単な情報や考えを話す場合、その内容を聴いて理解できない。	
リーディング	毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。		毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。		毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できない。	
文法および構文	高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得できている。		高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文をおおむね習得できている。		高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得できていない。	
学科の到達目標項目との関係						
JABEE f 到達目標 A 2						
教育方法等						
概要	英語によるコミュニケーション能力を高めるために、専攻科2年生の取得目標スコアであるTOEICスコア470以上を全員が獲得できるように、リスニングおよびリーディングの力を上げるためのトレーニングを行う。					
授業の進め方・方法	問題演習を通して、試験対策を行いつつ社会生活で用いられる英語を学ぶ（基本的に授業は英語で実施する）。テキストの問題（リスニングを除く）は予習をしておくこと。英語力の向上のためには日々の自学自習が望ましい。					
注意点	中間試験・期末試験・12月のTOEIC一斉試験のスコアを100点換算したものの平均 関連科目：総合英語演習I（本科4年生）					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション、小テスト		授業の内容、注意事項、評価方法についての説明。TOEICのミニテスト。	
		2週	Unit 1：旅行（1）		旅行に関する語彙・表現を学ぶ	
		3週	Unit 2：オフィス（1）		オフィスで使用する語彙・表現を学ぶ	
		4週	Unit 3：レストラン		レストランで使用する語彙・表現を学ぶ	
		5週	Unit 4：季節・天気		季節・天気に関する語彙・表現を学ぶ	
		6週	Unit 5：健康		健康に関する語彙・表現を学ぶ	
		7週	Unit 6：旅行（2）		旅行に関する語彙・表現を学ぶ	
		8週	Unit 7：休暇		休暇に関する表現を学ぶ	
	4thQ	9週	中間試験		Unit 1～7で学習した内容に基づき試験を行う	
		10週	Unit 8：オフィス（2）		オフィスで使用する語彙・表現を学ぶ	
		11週	Unit 9：ショッピング		ショッピングに関する語彙・表現を学ぶ	
		12週	Unit 10：就職活動		就職活動に関する語彙・表現を学ぶ	
		13週	Unit 11：娯楽		娯楽に関する語彙・表現を学ぶ	
		14週	Unit 14：会議		会議に関する語彙・表現を学ぶ	
		15週	期末試験		中間試験以後に学習した内容に基づき試験を行う	
		16週	答案返却			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	4	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	4	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	4	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	4	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	4	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	4	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	4	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	4	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	4	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	4	

				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	4	後13
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	4	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	4	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	4	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	4	後13
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	4	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	4	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	4	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	4	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	4	後13
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	4	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0